

市町村長・管理職特別セミナー

平成31年度市町村長特別セミナーを、4月18日、19日の2日間の日程で開催しました。36人の市町村長・副市町村長の皆様に加え、管理職特別セミナーの研修生16人も合同講義という形で全国各地からご参加いただきました。

初日は、「スマート自治体の推進」と題して、早稲田大学電子政府・自治体研究所研究院教授の岩崎尚子先生から、国内外の大企業・役所のデジタル化の状況や今後のRPA、AI、ブロックチェーン技術、5Gの複合的活用の必要性などについて御講演いただきました。参加者からは、「自治体がシステムを独自にカスタマイズする傾向があり、これがネックの1つという指摘は共感できた。標準化していくことが今後重要である」などの感想をいただきました。

引き続き同テーマで、熊本県宇城市総務部次長兼市長政策室長の天川竜治氏から、宇城市におけるRPAの導入・活用状況について、ご説明をいただきました。参加者から「RPAの具体的な活用が理解できた」、「AI、ICTに関する人材は、派遣を含め育成していくことが重要だと感じた」などの感想をいただきました。

その後両氏による意見交換が行われました。

次に、「IoTやAIで変わるSociety5.0時代の社会」と題して、東京大学大学院情報学環副学環長・教授の越塚登先生から、農林水産業や製造業におけるIoT活用の近況や、AIでできること、地域型IoT導入のために必要なことなどについて御講演いただきました。参加者からは、「先生の研究室は実におもしろい。地域課題の解決にはIoTやAIが必要と強く認識した」、「スモールスタート→共創→成功→拡大をどれだけ各

自治体が新しい発想で取り組めるか、天川講師のお話に通ずる所があり、参考になった」などの感想をいただきました。

また、1日目の締めくくりとして、ヴァイオリン奏者早稲田桜子氏、ピアノ奏者早稲田眞理氏による「ミニコンサート」が催されました。素晴らしい演奏はもとより、実際にヴァイオリンを何人かの参加者に演奏させるなど参加型で実施していただきました。参加者からは、「小学校体育館兼ホールが来年秋ごろオープンする予定。活用を考えたい」、「ただ聴くだけでなく、参加しているような雰囲気でもよかった」などの感想をいただきました。

2日目は、「In MINOKAMO, you are not a foreigner, you are the partner.」と題して、岐阜県美濃加茂市長の伊藤誠一氏から、美濃加茂市の外国人住民増加の状況やそれに伴う課題と取組み、これからのビジョンについて御講演いただきました。参加者からは、「本市も同じ課題を抱えており、同様の取組みを進めている。情報交換をしつつ、多文化共生を充実していきたい」、「外国人に対する自治体としての基本スタンスの考え方に感動した」などの感想をいただきました。

最後に、「本気の文化による町作りー豊岡市の挑戦ー」と題して、劇作家・演出家の平田オリザ氏が、人口減少問題の本質や文化の必要性について、自身の関わっている豊岡市などの豊富な事例をもとに御講演されました。参加者からは、「まちづくりにおいて、文化・芸術の重要性をなんとなく感じていたが、今日の話聞いて確信が変わった」、「地域が元気になるヒントをいただいた」などの感想をいただきました。

スマート自治体の推進

早稲田大学電子政府・自治体研究所研究院教授
岩崎 尚子先生



IoTやAIで変わるSociety5.0時代の社会

東京大学大学院情報学環副学環長・教授
越塚 登先生



In MINOKAMO, you are not a foreigner, you are the partner.

岐阜県美濃加茂市長
伊藤 誠一氏



スマート自治体の推進

熊本県宇城市総務部次長兼市長政策室長
天川 竜治氏



ミニコンサート

ヴァイオリニスト
早稲田 桜子氏
ピアニスト
早稲田 眞理氏



本気の文化による町作りー豊岡市の挑戦ー

劇作家・演出家
平田 オリザ氏

